

令和4年度 がん教育総合支援事業 「がん教育外部講師派遣」 報告書

学校等名 壱岐高等学校 担当者名 養護教諭 福井芹香
 電 話 0920-47-0081 F A X 0920-47-0082

実施日 令和4年10月14日(金) 13:30 ~ 16:30

場 所 長崎県立壱岐高等学校 体育館

講座名 講演会「内視鏡を用いた消化管がんの早期発見と治療に関して」

講 師 長崎県壱岐病院 内科医長 森 源喜氏
 (がん専門医 ・ 医療関係者 ・ がん経験者等)

近隣校への案内 案内先:新型コロナウイルス感染症流行拡大防止のため 計 校

参加者	生徒 全学年 (357)人	学校職員 (47)人	保護者 (0)人	他校職員等 (0)人	その他 (なし) (404)人
-----	-----------------------	-----------------	---------------	-----------------	---------------------------

テーマと内容
 テーマ「内視鏡を用いた消化管がんの早期発見と治療に関して」
 ・消化管がんとは、種類、内視鏡を用いた検診や治療について
 ・早期発見の重要性(ステージとそれぞれの5年生存率)
 ・壱岐市の現状(検診受診率、罹患率)
 ・夢を持って仕事をするということ(「壱岐市の消化管がんでは亡くなる人を0に」)

＜当日の様子＞ * 事業の様子等を必ず画像で添付してください。



＜講師からの指導や助言・成果＞

・消化管がんは早期発見であれば5年生存率も高く、また内視鏡によるがん細胞の摘出ができるため、体への負担も少なく治療することができる治せる病気である。初期は症状が出にくいので早期発見には定期的な検診がとても重要であり、自分たちが検診を受けられる年になったとき正しい行動選択をとれるようになってほしいし、今身近な人たちに学んだことを伝えてほしい。

○事後アンケートにより、がんへの正しい理解が深まったと感じている。また、生徒の感想から自分自身だけでなく周囲の人たちの健康にも関心を持ったり、夢を持って働かされている森先生の姿に感銘を受けたりして、様々な面で生徒の意識の変化があったようだった。

＜今後の取組及び課題＞ * 今後のがん教育の充実に向けての活用等

- ・ほけんだよりを作成し、出席できなかった生徒や保護者等へ周知する。
- ・配慮を必要とする生徒の把握について検討が必要である。